

Weekly Global Economy

海外 経済指標・イベント予定 (2007年8月13日～8月17日)

発表日：2007年8月10日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治
副主任エコノミスト 柵山 順子

8月13日～8月17日予定

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
8.13 (月)	10:30 (豪州) 豪中銀、金融政策に関する四半期報告			
	11:00 (中国) 7月消費者物価 (前年比)	+5.6%	+4.6% (+4.2～+5.6%)	+4.4%
	21:30 (米) 7月小売売上高 (前月比)	+0.3	+0.2% (▲0.4～+0.5%)	▲0.9%
	除く自動車 (前月比)	+0.5%	+0.4% (+0.1～+0.7%)	▲0.4%
	23:00 (米) 6月企業在庫 (前月比)	+0.4%	+0.4% (0.0～+0.6%)	+0.5%
8.14 (火)	10:30 (豪) 7月NAB企業信頼感指数	+16		+15
	10:30 (豪) 7期NAB企業景況感指数	+16		+16
	11:00 (中国) 7月小売売上高 (前年比)	+16.3%	+16.2% (+15.8～+16.5%)	+16.0%
	15:00 (独) 4-6月期実質GDP成長率 (前期比、速報値)	+0.5%	+0.4% (+0.4～+0.8%)	+0.5%
	15:40 (仏) 4-6月期実質GDP成長率 (前期比、速報値)	+0.6%	+0.6% (+0.4～+0.9%)	+0.5%
	15:45 (仏) 7月消費者物価 (前年比)	+1.3%	+1.3% (+1.1～+1.8%)	+1.2%
	17:30 (英) 7月消費者物価 (前年比)	+2.3%	+2.3% (+2.2～+2.5%)	+2.4%
	18:00 (欧) 4-6月期実質GDP成長率 (前期比、速報値)	+0.6%	+0.6% (+0.4～+0.8%)	+0.7%
	18:00 (欧) 6月鉱工業生産 (前月比)	▲0.1%	0.0% (▲0.3～+0.4%)	+0.9%
	21:30 (米) 6月貿易収支 (10億ドル)	▲61.5	▲61.0 (▲63.5～▲57.0)	▲60.0
	21:30 (米) 7月生産者物価 (前月比)	+0.1%	+0.1% (▲0.5～+0.7%)	▲0.2%
	除く食品、エネルギー (前月比)	+0.1%	+0.2% (▲0.1～+0.3%)	+0.3%

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

8.15	※ (水)	(インド 初ア) 4-6 月期実質 GDP 成長率 (前年比、20 日までに発表)	+6.10%	+6.10% (+6.00~+6.20%)	+5.97%
	9:30	(豪州) 8 月 Westpac 消費者信頼感指数	▲0.6		▲0.6%
	11:00	(中国) 7 月鉱工業生産 (前年比)	+18.5%	+18.5% (+17.5~+21.3%)	+19.4%
	17:30	(英) 7 月失業率	2.7%	2.7% (2.7~2.7%)	2.7%
	17:30	(英) BOE 議事録 (8 月 1、2 日分)			
	20:00	(米) MBA 住宅ローン申請指数	+0.9%		+8.1%
	21:30	(米) 7 月消費者物価 (前月比)	+0.2%	+0.2% (▲0.3~+0.4%)	+0.2%
		除く食品、エネルギー (前月比)	+0.2%	+0.2% (0.0~+0.3%)	+0.2%
	21:30	(米) 8 月ニューヨーク連銀製造業景気指数	15.5	18.8 (10.0~24.0)	26.5
	22:00	(米) 6 月対米証券投資 (10 億ドル)	78.3	62.5 (55.0~80.0)	126.1
	22:15	(米) 7 月鉱工業生産 (前月比)	+0.3%	+0.3% (▲0.3~+0.5%)	+0.5%
		設備稼働率	81.7%	81.7% (81.4~82.0%)	81.7%
	2:00	(米) 8 月 NAHB 住宅市場指数	22	23 (22~27)	24
8.16	11:00 (木)	(中国) 7 月固定資産投資 (都市部、年初来、前年比)	+26.8%	+26.8% (+16.5~+26.3%)	+26.7%
	17:30	(英) 7 月小売売上高 (前月比)	+0.1%	+0.2% (▲0.3~+0.3%)	+0.2%
	18:00	(欧) 7 月消費者物価指数 (前年比)	+1.8%	+1.8% (+1.8~+1.9%)	+1.8%
	21:30	(米) 新規失業保険申請件数 (千件)	313	313 (305~315)	316
	21:30	(米) 7 月住宅着工件数 (千件)	1405	1400 (1375~1470)	1467
	21:30	(米) 7 月建設許可件数 (千件)	1398	1405 (1375~1450)	1413
	1:00	(米) 8 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数	13.1	8.3 (0.3~14.0)	9.2
8.17	15:30 (金)	(インド) 卸売物価 (8 月 4 日の週、前年比)	+4.37%		+4.45%
	17:15	(香港) 4-6 月期実質 GDP 成長率 (前年比)	+6.0%	+5.9% (+5.5~+6.5%)	+5.6%
	22:00	(米) セントルイス連銀総裁が米国の輸出機会について講演			
	23:00	(米) 8 月シガン大消費者センチメント (速報値)	87.6	88.3 (80.0~92.5)	90.4

上記以外に、毎週火曜日に週間小売統計が発表される。

(注 1) 網掛けの経済指標は Indicators 作成予定、太字は重要指標

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(注2) 市場予想はBloomberg
 (注3) ※は発表時期未定
 (注4) (欧) はユーロ圏

各国別重要指標の解説

●米国

7月小売売上高 (前月比)

除く自動車 (前月比)

・自動車販売、ガソリン販売が減少するものの、iPhone、iPad最新巻の発売、バック・トゥ・スクール向けの商品の売上増加によって、前月から増加に転じると予想される。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

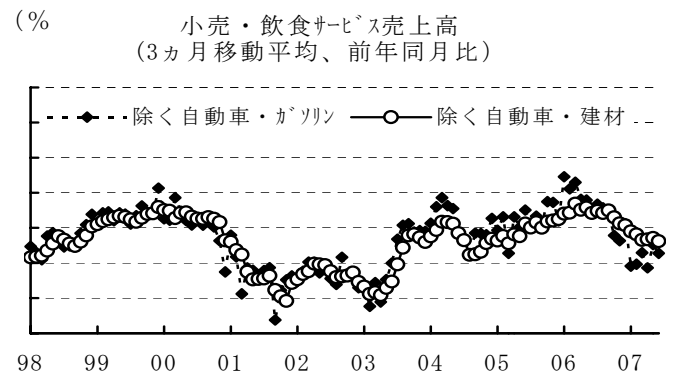
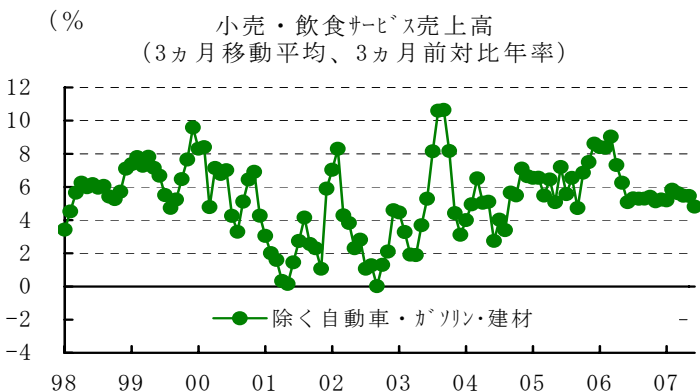
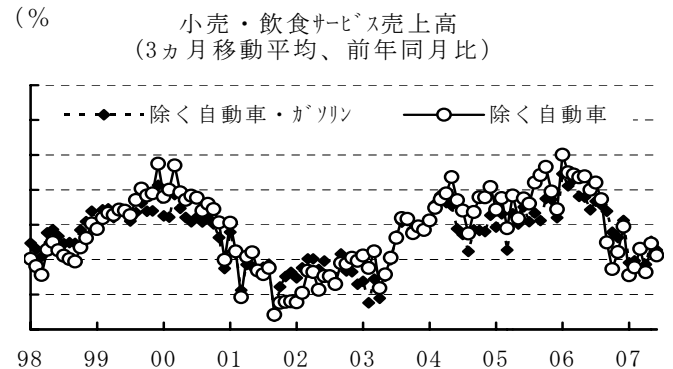
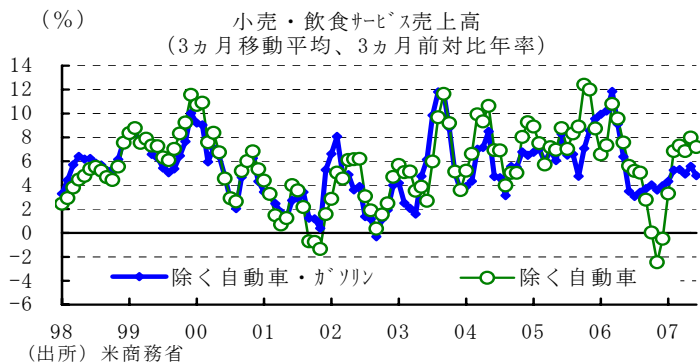
	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)			非耐久財関連 (*2)		ガソリン		
	前月比	前年同月比	除く車	自動車	家具	家電	衣料品			
06/06	+0.3	(+5.3)	+0.3	+0.1	+0.2	+1.9	+0.7	+0.4	+1.3	+0.9
06/07	+1.0	(+4.6)	+0.7	+1.3	+2.2	▲0.2	+0.2	+0.9	+0.9	+2.4
06/08	+0.1	(+6.3)	+0.2	▲0.2	▲0.3	+0.4	+0.3	+0.0	▲0.4	▲1.1
06/09	▲0.6	(+5.4)	▲1.0	+0.1	+0.7	+0.5	+0.2	▲1.3	+2.8	▲9.6
06/10	+0.0	(+4.9)	▲0.2	+0.3	+0.9	▲1.0	▲0.9	▲0.3	▲1.2	▲4.5
06/11	+0.3	(+4.5)	+0.5	+0.1	▲0.1	+0.1	+3.4	+0.6	▲0.7	+3.2
06/12	+1.1	(+5.6)	+1.1	+0.9	+1.1	▲0.1	+1.3	+1.0	+1.1	+3.7
07/01	▲0.0	(+2.2)	+0.2	▲0.4	▲0.8	+2.0	▲1.6	+0.4	+2.8	▲0.0
07/02	+0.6	(+3.6)	+0.5	+0.4	+0.8	▲0.1	+0.4	+0.9	▲1.7	+1.6
07/03	+1.0	(+4.4)	+1.1	+0.7	+0.6	+0.0	▲1.0	+1.0	+2.0	+3.1
07/04	▲0.3	(+2.8)	▲0.1	▲1.3	▲1.3	▲0.6	▲0.2	+0.2	▲1.7	+1.2
07/05	+1.5	(+5.0)	+1.6	+1.9	+1.1	+0.3	+1.1	+1.4	+2.5	+4.1
07/06	▲0.9	(+3.8)	▲0.4	▲2.7	▲2.9	▲3.0	▲1.4	+0.0	▲1.4	▲1.1

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(米) 6月貿易収支 (10億ドル)

・受注・出荷ともに好調な航空機の輸出が拡大する一方で、原油輸入の増加によって貿易赤字は小幅拡大しよう。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
06/10	▲581.66	▲654.93	+73.27	+1.0	(+14.0)	+0.4	▲2.5	(+3.6)	▲3.2
06/11	▲584.55	▲662.56	+78.01	+1.1	(+13.9)	+0.7	+0.9	(+5.2)	+0.9
06/12	▲603.06	▲685.90	+82.84	+0.9	(+12.0)	+0.8	+1.6	(+5.4)	+2.0
07/01	▲568.02	▲646.25	+78.23	+0.5	(+11.5)	+1.1	▲1.5	(+2.7)	▲1.9
07/02	▲575.98	▲655.00	+79.02	▲1.4	(+9.9)	▲2.1	▲0.6	(+3.7)	▲0.7
07/03	▲623.90	▲707.42	+83.52	+2.6	(+10.9)	+2.8	+4.4	(+7.2)	+5.0
07/04	▲586.66	▲673.44	+86.78	▲0.1	(+10.7)	▲0.1	▲2.0	(+4.9)	▲2.2
07/05	▲600.36	▲689.99	+89.63	+2.2	(+11.1)	+2.6	+2.3	(+4.1)	+2.5

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
06/10	+0.4	▲0.6	+0.9	▲0.2	+3.2	▲3.2	▲9.9	▲0.8	▲0.5	+0.4
06/11	+1.0	▲1.2	+1.7	+3.3	+1.2	+0.9	+0.4	+0.6	+1.5	+1.9
06/12	+0.6	▲1.0	+0.7	+3.9	+0.8	+2.0	+2.8	+0.1	+5.6	+1.2
07/01	+0.9	+0.1	+1.6	▲5.8	+3.8	▲1.9	▲0.5	+2.0	▲9.8	▲2.9
07/02	▲2.3	▲0.5	▲5.7	+1.9	▲3.0	▲0.6	▲7.2	+0.7	+2.1	+4.0
07/03	+3.2	+4.6	+1.2	+8.9	+2.8	+4.4	+11.6	▲1.4	+6.2	+1.8
07/04	▲0.2	+1.3	▲1.8	▲0.7	+1.2	▲2.0	+0.9	▲1.4	▲4.7	▲4.1
07/05	+2.5	+2.4	+5.5	▲0.4	+0.6	+2.6	+4.8	+2.9	▲2.4	+1.5

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automobiles

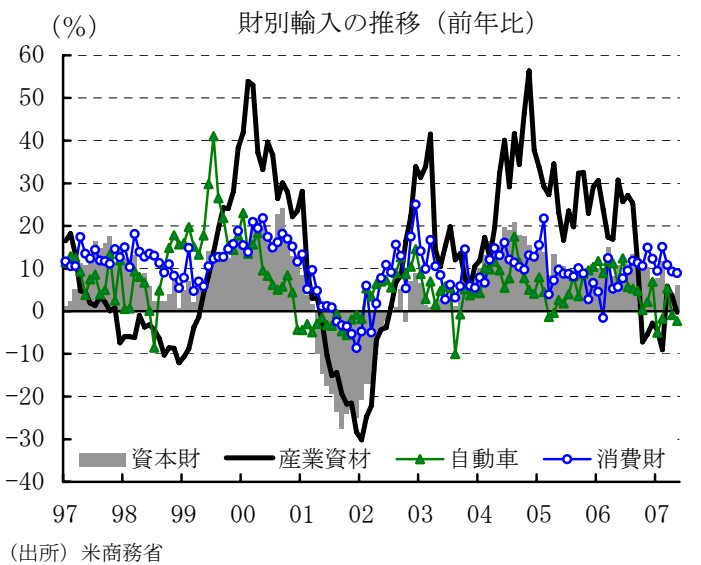
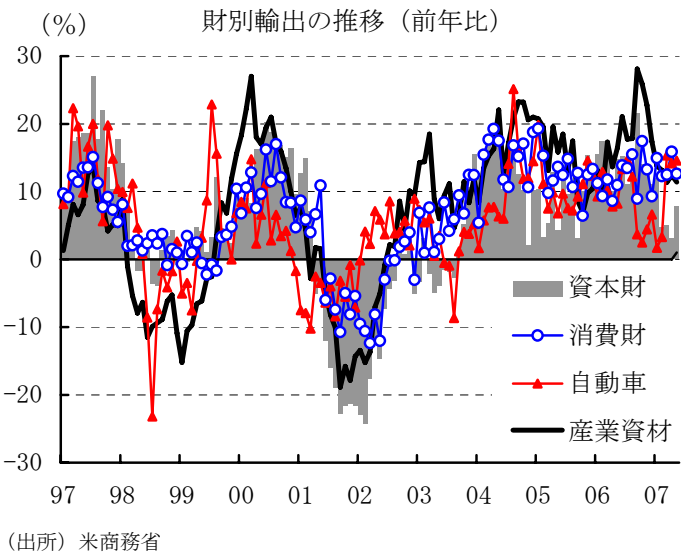
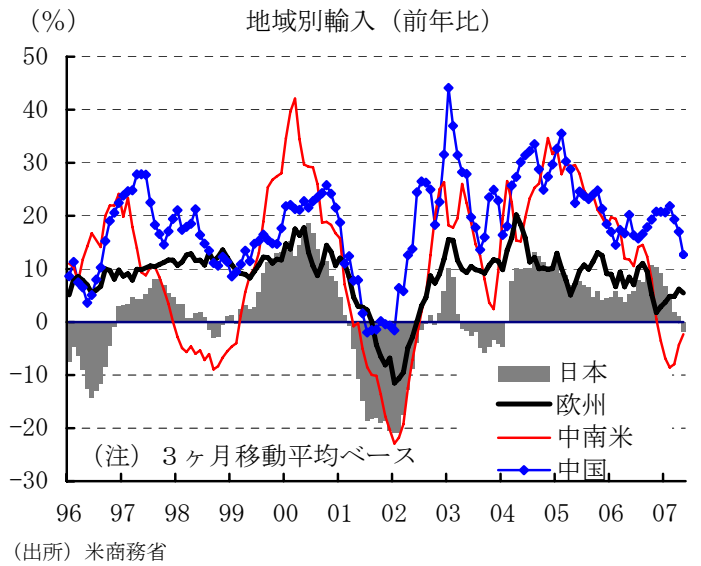
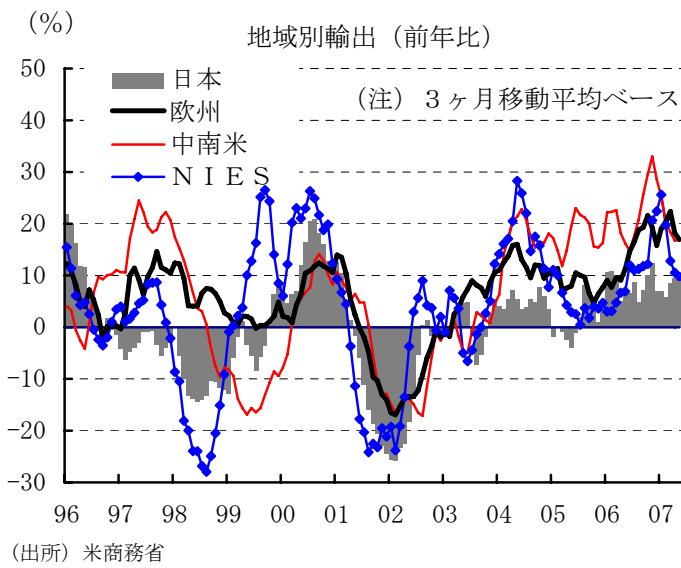
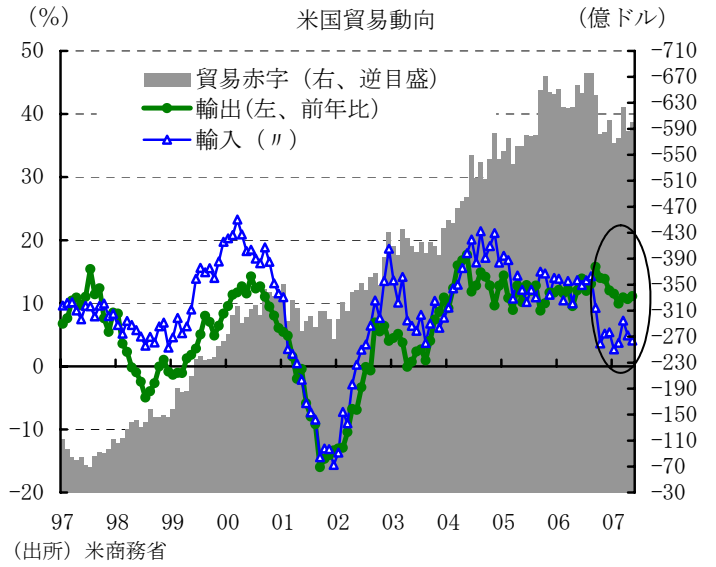
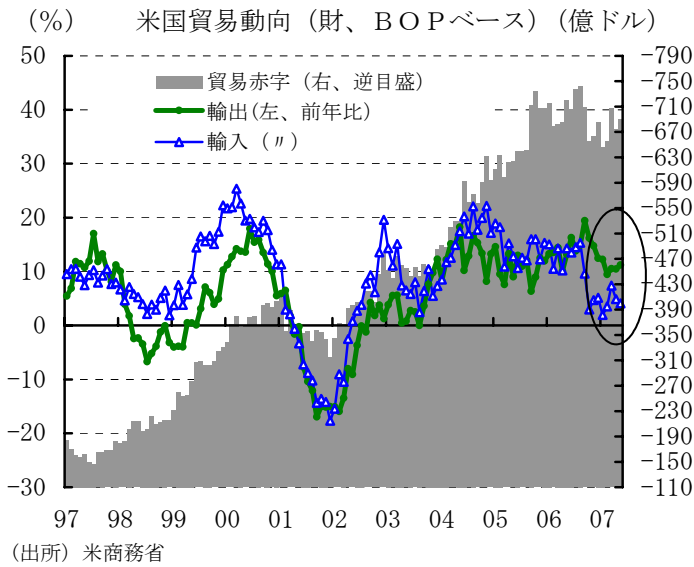
*3: Automobiles vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automobiles

	輸出					輸入						
		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国 日本		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国 日本		
06/10	+16.2	+6.4	+20.2	+18.5	+13.8	+12.4	+5.0	▲8.3	+7.9	+2.0	+13.7	+12.8
06/11	+15.8	+7.1	+17.0	+14.6	+20.0	+9.6	+4.7	▲5.6	+4.7	+1.4	+13.7	+8.6
06/12	+11.4	+2.5	+6.8	+14.4	+16.1	▲0.9	+3.3	▲9.4	▲0.9	+5.4	+9.5	+5.8
07/01	+14.6	+3.0	+9.2	+28.8	+13.9	+12.9	+4.1	▲6.3	▲3.1	+4.6	+11.8	+5.7
07/02	+9.3	+4.0	+7.0	+18.6	+10.6	+6.3	+3.4	▲7.2	▲2.7	+4.5	+14.1	+2.0
07/03	+9.5	+3.5	+3.4	+20.5	+7.3	+6.6	+4.7	+3.3	+0.6	+5.3	+4.5	▲1.4
07/04	+10.4	+5.7	+8.1	+15.3	+10.2	+16.6	+6.4	+2.9	+3.4	+8.7	+6.5	+2.5
07/05	+11.5	+6.3	+9.7	+14.8	+9.6	+8.5	+2.7	+2.2	+1.5	+2.7	+5.1	▲6.7

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月生産者物価（前月比）

除く食品、エネルギー（前月比）

・エネルギー価格の下落が続くものの食料品価格の上昇等により総合指数は前月比でプラスに転じよう。一方コア物価は自動車価格の下落によって前月比+0.1%の低い伸びにとどまろう。

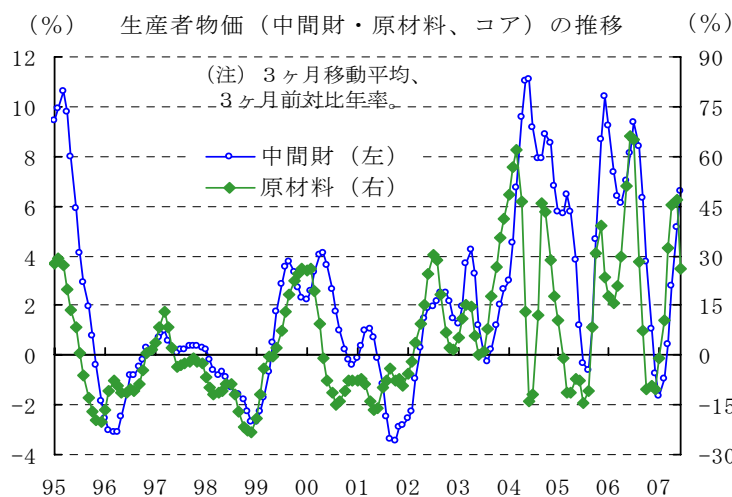
・変動の大きい食料・エネルギーを除いた生産者物価コア（最終財コア）のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）は、最終財コアに6ヵ月程度先行する中間財コアが2007年1月にかけて低下したことから、7月も鈍化が見込まれる。

・2007年8月以降に関しては、中間財コアが2、3、4、5、6月と上昇したため、最終財コアは2007年8月に上昇に転じた後、2008年1月まで上昇ペースが加速すると予想される。しかし、競争の激化や生産性の向上等を背景に、川中である中間財から川下である最終財への波及が限定的なものにとどまるとみられ、最終財コアは緩やかな上昇になると見込まれる。

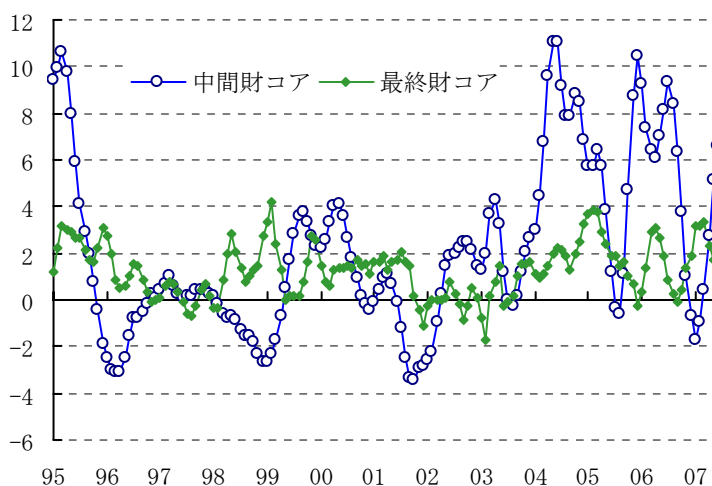
生産者物価 (Producer Price Indexes)											
	最終財		コア		エネルギー	中間財		原材料	コア		WTI
06/07	▲0.1	(+4.0)	▲0.5	(+0.8)	+0.7	+0.2	+0.5	+2.5	+1.5	74.4	
06/08	+0.4	(+3.8)	+0.4	(+1.2)	▲0.5	+0.4	+0.4	+2.6	▲3.4	73.1	
06/09	▲1.1	(+0.9)	+0.3	(+1.3)	▲5.9	▲1.3	+0.0	▲3.8	+1.4	63.9	
06/10	▲1.5	(▲1.2)	▲0.4	(+1.0)	▲5.8	▲1.2	▲0.1	▲9.1	▲2.7	59.1	
06/11	+1.6	(+0.9)	+0.9	(+1.9)	+5.4	+0.6	▲0.4	+11.7	▲0.6	59.4	
06/12	+0.7	(+1.1)	+0.1	(+2.0)	+2.4	+0.9	+0.1	+2.5	+1.7	62.1	
07/01	▲0.6	(+0.1)	+0.2	(+1.7)	▲4.3	▲0.7	+0.0	▲5.9	+1.8	54.7	
07/02	+1.2	(+2.4)	+0.4	(+1.8)	+3.0	+0.8	+0.0	+9.4	+2.9	59.4	
07/03	+1.0	(+3.2)	+0.0	(+1.7)	+3.6	+1.3	+0.6	+4.7	+7.1	60.7	
07/04	+0.7	(+3.2)	+0.0	(+1.5)	+3.4	+0.9	+0.8	▲1.4	+0.4	64.0	
07/05	+0.9	(+4.1)	+0.2	(+1.6)	+4.1	+1.1	+0.4	+2.5	+0.1	63.5	
07/06	▲0.2	(+3.3)	+0.3	(+1.8)	▲1.1	+0.5	+0.4	+0.0	▲0.2	67.5	

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比 (未季調)。



(%) 生産者物価（最終財）の推移
(3ヶ月移動平均、3ヶ月前対比年率)



7月消費者物価（前月比）

除く食品、エネルギー（前月比）

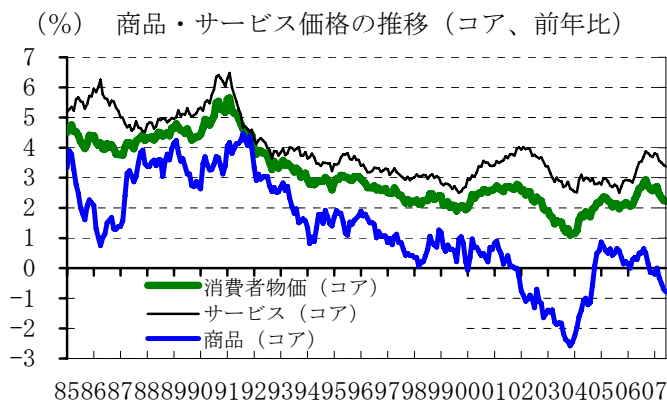
・エネルギー価格の下落、食品価格の上昇によって総合指数は前月+0.2%。コアインフレは自動車価格、宿泊費の下落が予想される一方、帰属家賃、賃貸料、タバコの上昇によって同+0.2%と安定的な伸びが続こう。

消費者物価 (Consumer Price Index)

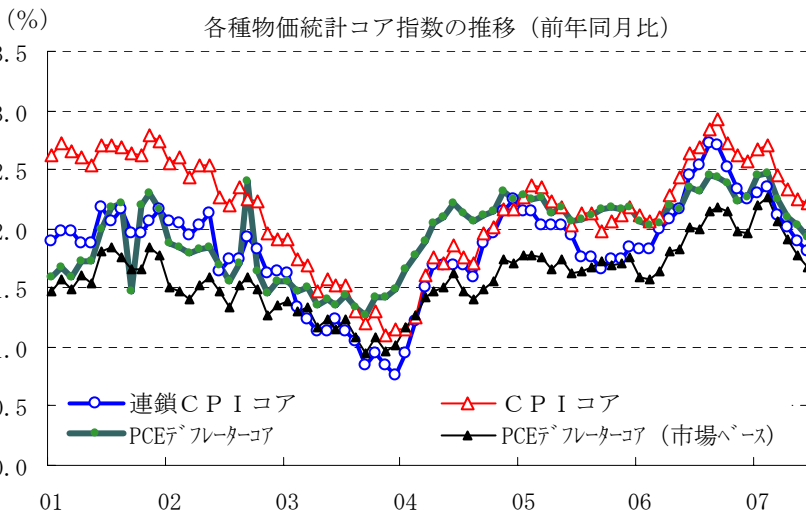
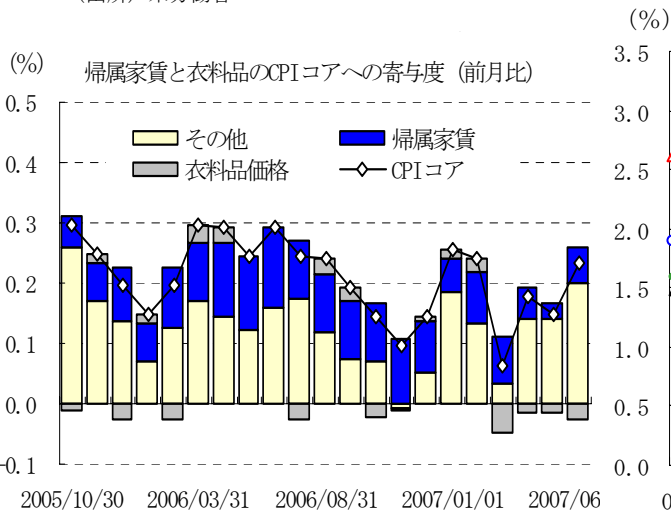
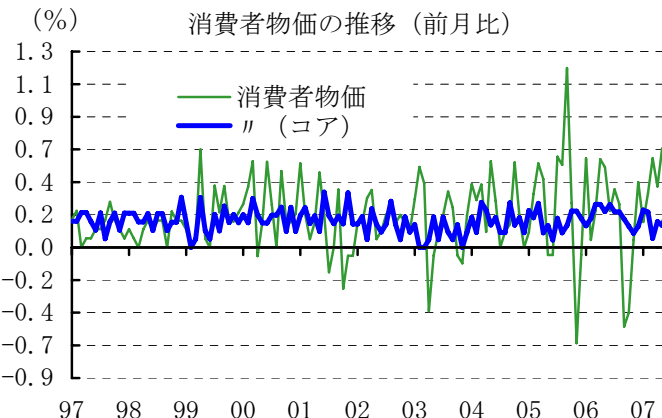
消費者物価	コア		エネルギー	食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア	
	▲	(+)									
06/09	▲0.5	(+2.1)	+0.193	(+2.9)	▲7.3	+0.4	+0.3	+0.5	▲4.1	+0.3	+0.3
06/10	▲0.4	(+1.3)	+0.145	(+2.7)	▲6.7	+0.3	+0.0	+0.5	▲3.0	+0.3	+0.3
06/11	+0.0	(+2.0)	+0.096	(+2.6)	▲0.2	▲0.1	+0.4	+0.1	▲0.8	+0.2	+0.3
06/12	+0.4	(+2.5)	+0.144	(+2.6)	+4.2	▲0.1	+0.4	+0.2	+1.7	+0.2	+0.2
07/01	+0.2	(+2.1)	+0.256	(+2.7)	▲1.5	+0.7	+0.2	+0.3	▲0.8	+0.8	+0.3
07/02	+0.4	(+2.4)	+0.241	(+2.7)	+0.9	+0.8	+0.4	+0.5	+0.1	+0.5	+0.3
07/03	+0.6	(+2.8)	+0.061	(+2.5)	+5.9	+0.3	+0.2	+0.2	▲1.0	+2.8	+0.1
07/04	+0.4	(+2.6)	+0.177	(+2.3)	+2.4	+0.4	+0.2	+0.2	▲0.3	+1.2	+0.4
07/05	+0.7	(+2.7)	+0.150	(+2.2)	+5.4	+0.3	+0.2	+0.2	▲0.3	+2.8	+0.3
07/06	+0.2	(+2.7)	+0.232	(+2.2)	▲0.5	+0.5	+0.3	+0.3	▲0.6	▲0.2	+0.2

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。



(出所) 米労働省



(出所) 米商務省、米労働省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月鉱工業生産（前月比）

設備稼働率

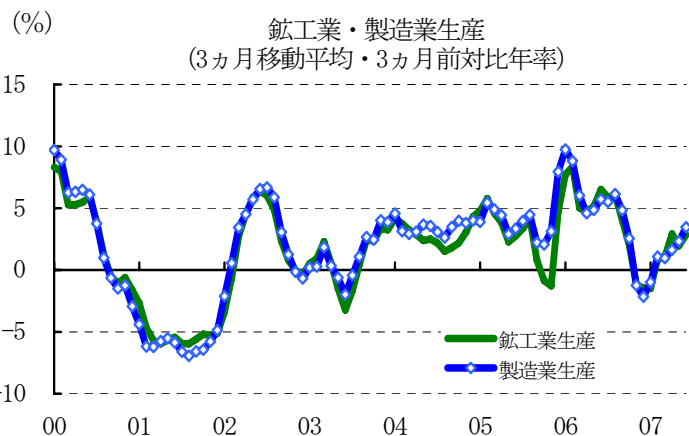
・ハイテク生産が好調を維持するなか自動車の反動減に伴う製造業の拡大ペース鈍化により鉱工業生産の伸びも減速する公算が大きい。

鉱工業生産（Industrial Production and Capacity Utilization）

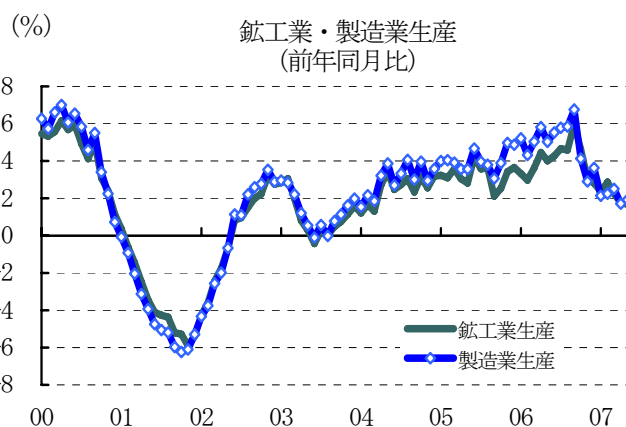
	鉱工業生産		製造業 (NAICS)							設備稼働率		生産能力	
	前月比	前年同月比	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	稼働率	製造業 (NAICS)	生産能力		
06/07	+0.4	(+4.7)	+0.4	▲0.1	+1.2	+1.7	+0.3	▲4.1	+82.4	+80.8	+0.2		
06/08	+0.2	(+4.6)	+0.4	▲1.1	+0.0	+2.5	+0.1	+1.9	+82.4	+80.9	+0.2		
06/09	▲0.3	(+6.0)	▲0.0	+1.1	▲3.9	+3.1	▲0.4	▲1.3	+82.0	+80.7	+0.2		
06/10	▲0.2	(+4.6)	▲0.9	▲0.1	+5.0	+1.7	▲0.7	▲3.6	+81.7	+79.8	+0.2		
06/11	▲0.4	(+3.0)	▲0.2	▲0.2	▲2.7	+0.8	▲0.2	+3.5	+81.3	+79.5	+0.2		
06/12	+0.6	(+2.8)	+1.2	+1.8	▲4.1	+1.1	+1.2	+1.7	+81.6	+80.3	+0.2		
07/01	▲0.5	(+2.4)	▲0.7	▲2.3	+2.5	+0.6	▲1.0	▲5.9	+81.1	+79.6	+0.2		
07/02	+0.8	(+2.9)	▲0.1	▲0.1	+8.6	+0.2	+0.0	+2.4	+81.6	+79.4	+0.2		
07/03	▲0.1	(+2.2)	+0.7	+0.1	▲6.6	+1.3	+0.6	+0.6	+81.4	+79.8	+0.1		
07/04	+0.4	(+1.8)	+0.2	▲0.1	+2.8	+0.9	+0.4	+1.4	+81.6	+79.8	+0.1		
07/05	▲0.1	(+1.7)	+0.0	+0.3	▲1.6	+0.3	▲0.2	▲0.5	+81.4	+79.7	+0.1		
07/06	+0.5	(+1.4)	+0.6	+0.5	+0.3	+1.5	+0.6	+2.5	+81.7	+80.0	+0.1		

(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。



(出所) FRB



(出所) FRB

7月住宅着工件数（千件）、7月建設許可件数（千件）

・住宅建設の基調を決める一戸建ての着工件数・着工許可件数が減少傾向を辿っていること、住宅在庫の水準が高止まりしていることから、住宅着工件数は前月から減少する公算が大きい。

住宅着工・許可件数（Housing Starts and Building Permits）

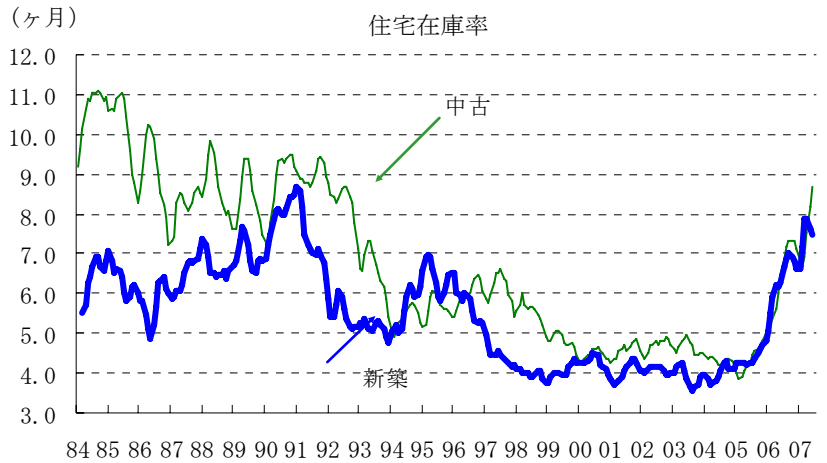
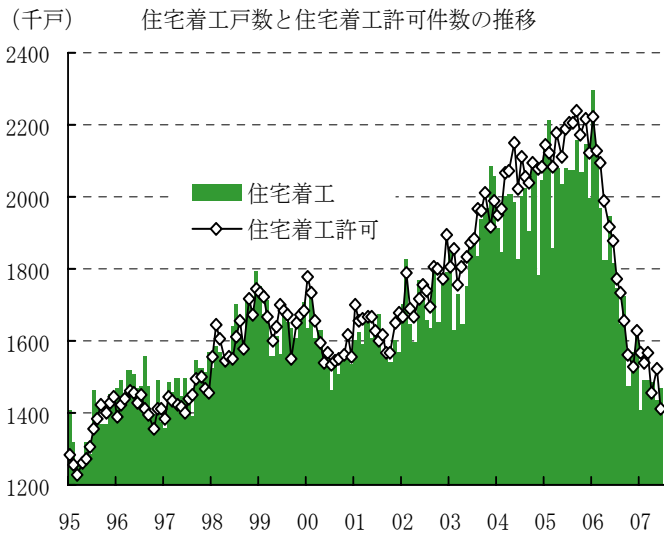
	住宅着工				住宅許可				モーゲージ 金利	住宅市場 指数	
	一戸建て	2～4戸	5戸以上		北東部	中西部	南部	西部			
06/10	1470	1181	38	251	147	232	713	378	1560	6.30	31
06/11	1565	1273	20	272	153	227	828	357	1527	6.13	33
06/12	1629	1241	49	339	174	226	808	421	1628	6.12	33
07/01	1403	1123	23	257	188	190	699	326	1566	6.21	35
07/02	1487	1188	30	269	134	163	798	392	1541	6.16	39
07/03	1491	1205	36	250	129	226	765	371	1569	6.07	36
07/04	1485	1195	36	254	163	206	726	390	1457	6.16	33
07/05	1434	1153	32	249	165	242	704	323	1520	6.23	30
07/06	1467	1151	35	281	161	233	721	352	1406	6.58	28
07/07										6.63	24

(出所) 商務省、FRB

(注1) 住宅着工の正式分類は、1戸建、2戸建、3～4戸建、5戸建以上。

(注2) モーゲージ金利の出所はFRB。別統計。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

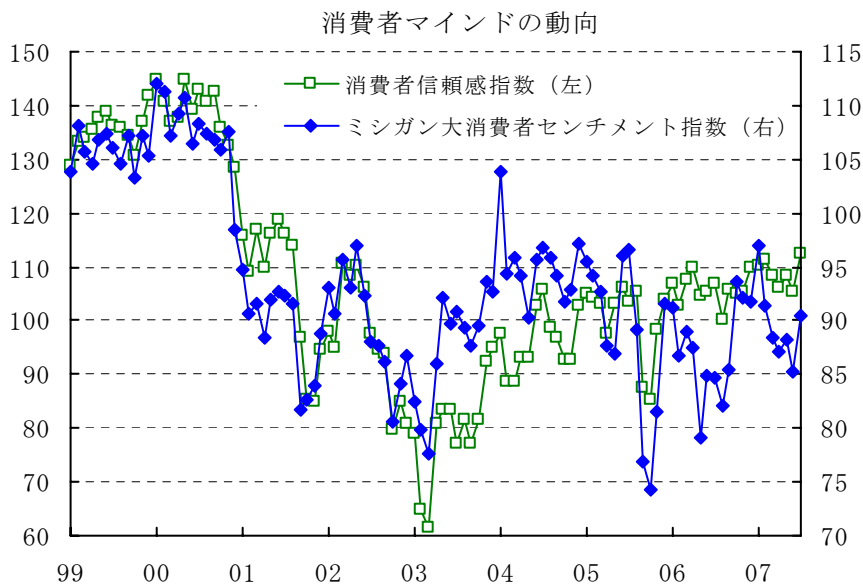


(米) 8月ミガン大消費者センチメント (速報値)

・ガソリン価格の下落が下支え要因になる一方、株価の下落、景気の先行きに対する楽観的な見方の後退により前月から低下を予想する。

	消費者信頼感 (Consumer Confidence)										ミシガン大学消費マインド		
	消費者信頼感指数		雇用判断				半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状	
	期待指数	現状指数	充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅					
06/11	105.3	91.9	125.4	25.7	22.1	16.0	8.5	5.2	3.2	92.1	83.2	106.0	
06/12	110.0	96.3	130.5	27.6	21.3	16.7	7.8	5.4	2.9	91.7	81.2	108.1	
07/01	110.2	94.4	133.9	29.6	19.7	16.3	8.0	6.3	3.3	96.9	87.6	111.3	
07/02	111.2	93.8	137.1	27.8	17.9	15.9	8.2	5.5	3.4	91.3	81.5	106.7	
07/03	108.2	87.9	138.5	30.3	18.9	14.5	9.8	5.4	3.2	88.4	78.7	103.5	
07/04	106.3	88.2	133.5	29.0	20.3	13.8	9.7	6.2	3.0	87.1	75.9	104.6	
07/05	108.5	90.1	136.1	29.1	19.7	15.3	10.2	5.9	2.8	88.3	77.6	105.1	
07/06	105.3	88.8	129.9	27.6	20.5	16.2	10.8	6.0	2.9	85.3	74.7	101.9	
07/07	112.6	94.8	139.2	30.5	18.4	15.4	8.0	7.2	3.1	90.4	81.5	104.5	

(出所) The Conference Board, University of Michigan
(注) 「雇用判断」、「半年後の景況感」、「購入計画」の単位は%で、全体に占める割合を指す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●欧州

(欧) 4-6月期実質GDP

GDPと相関の高いPMIや鉱工業生産などを見ると、4-6月期も潜在成長率を上回る堅調な推移が続いたと予想する。

1-3月期に景気の牽引役となった設備投資は、前期の高い伸びの反動もあり、伸びが鈍化した可能性が高い。また、建設投資も、暖冬により冬場に工事の中断がなかったこともあり、例年の4-6月期と比べても前期比では低い伸びになっていると予想される。逆に、ドイツ付加価値税引き上げの影響で低迷した1-3月期からの反動増が期待された個人消費については、ドイツの大雨やイタリアの熱波など、4-6月期は異常気象が続いたため、期待はずれの結果となったようだ。こうした内需の鈍化により、輸入が大幅に減速した一方で、新興国向けなどに支えられ、輸出は底堅さを保っている。総じて見れば、4-6月期は外需主導の成長であったと考える。

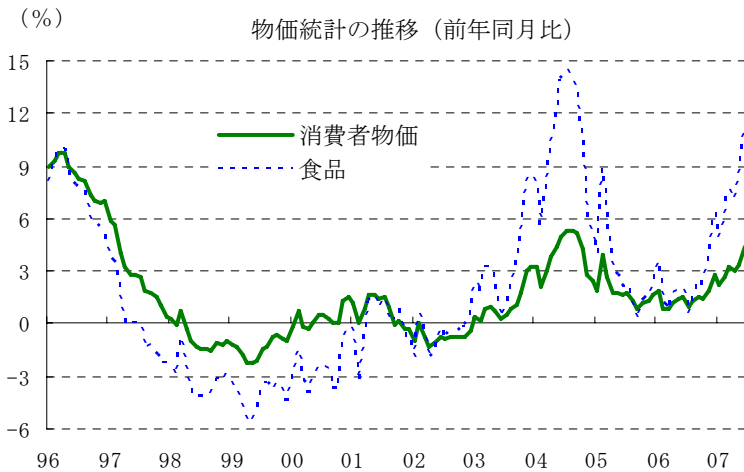
(英) BOE議事録

7月利上げの影響をみるということもあり、8月は全員一致での据え置きになったと予想する。一方、今週発表されたインフレーションレポートでは、08年1-3月期までに利上げを実施する可能性が示唆された。

なかなか鈍化が明確にならない住宅市場、これまでの利上げの割に堅調な個人消費、内需拡大を背景にじわじわと進められている製品価格の値上げなどを考えると、追加利上げの時期は近く、次回インフレーションレポートが発表される11月までに実施されると可能性が高いだろう。前回までの議事録では、利上げ賛成派の中でも、強気派とそれ以外のメンバーとの間に温度差があることが垣間見えた。この温度差が縮小しているのかどうか、次回利上げ時期を見通す上で注目される。

●アジア

(中国) 7月消費者物価(前年比)



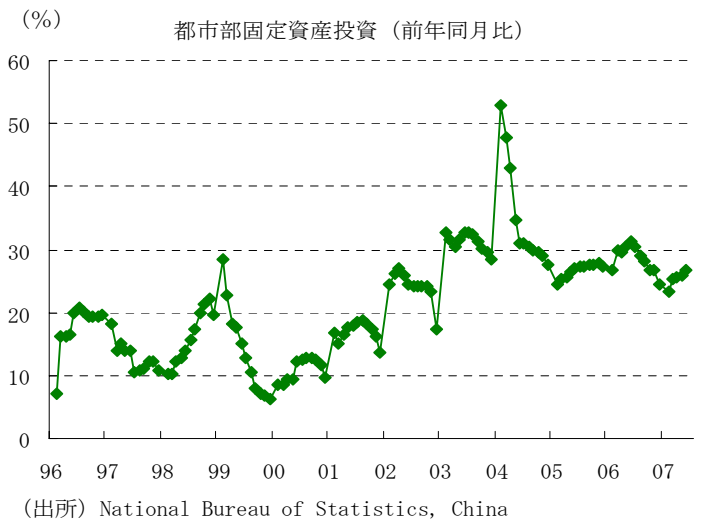
(中国) 7月小売売上高(前年比)



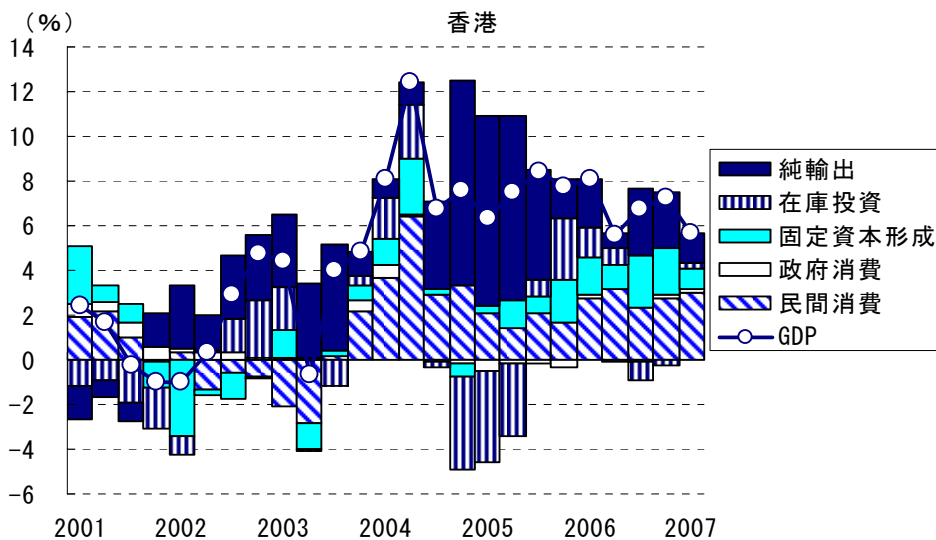
(中国) 7月鉱工業生産(前年比)



(中国) 7月固定資産投資(都市部、年初来、前年比)



(香港) 4-6月期実質GDP成長率(前年比)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(インド) 卸売物価 (8月4日の週、前年比)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (07年8月～10月)

8月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 6月鉱工業指数(8:50)	31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債 (米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレーター (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)	8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) 2007年路線価 (米)7月ISM製造業指数 (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)7月製造業PMI(確定値)	2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	3 6月家計消費状況調査(14:00) (米)7月雇用統計 (米)7月ISM非製造業指数
6 6月景気動向指数(14:00)	7 8月月例経済報告 10年物価変動国債 (米)FOMC (米)6月消費者信用残高 (米)4-6月期非農産部門労働生産性(速)	8 6月機械受注(8:50) 7月マネーサプライ(8:50) 7月貸出・資金吸収(8:50) 7月景気ウォッチャー(14:00)	9 5年利付国債	10 7月企業物価(8:50) 6月鉱工業指数・確(13:30) 6月商業販売統計・確(13:30) 7月消費動向調査(14:00) (米)7月輸入物価 (米)7月財政収支 (伊)4-6月期実質GDP
13 6月国際収支(8:50) 4-6月期GDP1次速報(8:50) (米)7月小売売上高 (米)6月企業在庫	14 6月第3次産業活動指数(8:50) 7月投入・産出物価指数(8:50) (米)6月貿易収支 (欧)4-6月期実質GDP (独)4-6月期実質GDP (仏)4-6月期実質GDP	15 8月ロイター短観(8:30) (米)7月消費者物価 (米)8月NY連銀製造業指数 (米)6月対米証券投資 (米)7月鉱工業生産 (米)8月NAHB住宅指数 ※(インドネシア)4-6月期実質GDP	16 6月建設総合統計(14:00) (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (米)8月フィリピン連銀指数	17 6月毎月勤労統計・確(10:30) 6月景気動向指数改訂(14:00) ※7月全国百貨店売上高(14:30) (米)8月シカゴ大消費者センチ(速) (香港)4-6月期実質GDP
20 7月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)7月景気先行指標	21 6月全産業活動指数(8:50) 15年変動利付国債 (米)FOMC議事録(8/7) (独)8月ifo景況感指数	22 金融政策決定会合(~23日) ※7月貿易統計(8:50) ※7月チェーンストア販売統計(14:00)	23 8月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (台湾)4-6月期実質GDP	24 7月CSPI(8:50) (米)7月耐久財受注 (米)7月新築住宅販売件数 (欧)8月製造業PMI(速報値)
27 (米)7月中古住宅販売件数	28 金融政策決定会合議事要旨(7月11・12日分) 20年利付国債 (米)FOMC議事録(8/7) (独)8月ifo景況感指数	29 (マレーシア)4-6月期実質GDP	30 7月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)4-6月期実質GDP(改定値) (米)7月求人広告指数 (米)4-6月期住宅価格指数 (フィリピン)4-6月期実質GDP	31 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月鉱工業指数(8:50) 7月住宅着工統計(14:00) (米)7月個人所得・消費 (米)7月PCEデフレーター (米)8月シカゴPMI (米)7月製造業受注 (米)8月シカゴ大センチ(確) (欧)8月消費者物価(速) (インド)4-6月期実質GDP

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

9月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/3 4～6月期法人企業統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) (欧)8月製造業PMI(確定値) (タイ)4-6月期実質GDP	4 8月マネタリーベース(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)8月ISM製造業指数 (米)8月自動車販売 (米)7月建設支出	5 (米)ページブック (米)7月中古住宅販売保留	6 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(確) (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	7 7月景気動向指数(14:00) (米)8月雇用統計
10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 8月マネーサプライ(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 8月景気ウォッチャー (米)7月消費者信用残高	11 7月機械受注(8:50) 5年付国債 (米)7月貿易収支	12 7月国際収支(8:50) 8月企業物価(8:50) 8月消費動向調査(14:00)	13 7月商業販売統計・確(13:30) (米)8月財政収支	14 8月投入・産出物価指数(8:50) 7月鉱工業指数・確(13:30) (米)8月輸入物価 (米)8月小売売上高 (米)8月鉱工業生産 (米)9月シカゴ大消費者センチ(速) (米)7月企業在庫
17 (米)9月NY連銀製造業指数	18 9月ロイター短観(8:30) 7月第3次産業活動指数(8:50) 4～6月期資金循環(8:50) 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(～19日) ※9月月例経済報告 ※2007年基準地価 (米)FOMC (米)9月NAHB住宅指数 (米)7月対米証券投資	19 7月景気動向指数改訂(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30) 9月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)8月消費者物価 (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数	20 7～9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月コンビニエンスストア統計(16:00) 20年利付国債 (米)8月景気先行指標 (米)9月フィラ連銀指数	21 7月全産業活動指数(8:50) ※8月チェーンストア販売統計(14:00)
24	25 8月CSPI(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月22・23日分) (米)8月中古住宅販売件数 (独)9月IFO景況感指数	26 ※8月貿易統計(8:50) (米)8月耐久財受注	27 2年利付国債 (米)4-6月期実質GDP(確定値) (米)8月新築住宅販売件数 (米)8月求人広告指数	28 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)8月個人所得・消費 (米)8月PCEデフレーター (米)9月シカゴPMI (米)9月シカゴ大センチ(確) (米)8月建設支出 (欧)9月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10/1 9月日銀短観(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00) (米)9月ISM製造業景況指数 (欧)9月製造業PMI(確定値)	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) 8月消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)9月自動車販売 (米)8月中古住宅販売保留	3 (米)9月ISM非製造業景況指数	4 10年物価連動国債 (米)8月製造業受注指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 8月景気動向調査(14:00) (米)9月雇用統計 (米)8月消費者信用残高
8 ※(シンガポール)7-9月期実質GDP	9 9月景気ウォッチャー (米)FOMC議事録(9/18)	10 金融政策決定会合(~11日) ※(米)9月財政収支	11 8月機械受注(8:50) 8月国際収支(8:50) 9月マネーサプライ(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 10月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※10月月例経済報告 (米)9月貿易収支 (米)9月輸入物価	12 9月企業物価(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)9月小売売上高 (米)10月ミシガン大消費者センチ(速) (米)8月企業在庫
15 8月鉱工業指数・確(13:30) 8月商業販売統計・確(13:30) (米)10月NY連銀製造業指数	16 9月投入・産出物価指数(8:50) 30年利付国債 (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅指数 (米)8月対米証券投資	17 8月第3次産業活動指数(8:50) 8月毎月勤労統計・確(10:30) 8月景気動向指数改訂(14:00) 8月建設総合統計(14:00) (米)ページブック (米)9月消費者物価 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数	18 10月ロイター短観(8:30) (米)9月景気先行指標 (米)10月フィラ連銀指数 ※(中国)7-9月期実質GDP	19 8月全産業活動指数(8:50) ※9月全国百貨店売上高(14:30) (英)7-9月期実質GDP
22 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(韓国)7-9月期実質GDP	23 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50)	24 ※9月貿易統計(8:50) (米)9月中古住宅販売件数	25 9月CSPI(8:50) 20年利付国債 (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (米)9月求人広告指数 (独)10月Ifo景況感指数	26 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月鉱工業指数(8:50) (米)10月ミシガン大センチ(確)
29 9月商業販売統計(8:50)	30 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 2年利付国債	31 9月毎月勤労統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)FOMC (米)7-9月期実質GDP(速報値) (米)7-9月期雇用コスト指数(速) (米)10月シカゴPMI (米)9月建設支出 (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) (米)9月個人所得・消費 (米)9月PCEデフレーター (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売 (米)9月中古住宅販売保留	2 9月家計消費状況調査(14:00) 10月マネタリーベース(8:50) (米)10月雇用統計 (米)9月製造業受注 (欧)10月製造業PMI(確定値)

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。